

全建発19～148号
平成19年8月17日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会長 鈴木 道雄



第531回建設技術講習会(管理行政の課題)開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約8万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術関係職員の技術水準の向上等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、私ども公共事業に携わる建設技術者は、安全・安心基盤の確立に向け、自然災害対策、交通安全の確保、少子高齢化への対応等をはじめ、地域再生・都市再生の推進、環境対策、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任、技術開発など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、官公庁職員の一層の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められております。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第531回建設技術講習会では、公共土木施設等の維持・管理及び土木・建築技術の管理に係る現状と課題及び今後の動向について学ぶとともに、公共施設をめぐる紛争事例と動向、施設の長寿命化、ITの活用、合理的更新など最新の管理技術を学ぶことを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 敬具

全建発第18～304号
平成19年1月19日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 前川 秀和
(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成19年度建設技術講習会について

謹啓 時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、わが国の社会環境が大きく変貌する中で、今日、私ども公共事業に携わる建設技術者は、安全・安心基盤の確立に向け、自然災害対策、交通安全の確保、少子高齢化への対応等をはじめ、地域再生・都市再生の推進、環境対策、社会資本ストックの活用、事業の進め方、品質確保と発注者責任、技術開発など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、官公庁職員の技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められており、このため職員研修の役割は従来にも増して重要と考えております。

社団法人全日本建設技術協会では、主に官公庁に勤務する建設技術関係者の資質の向上を図るため、建設技術講習会及び海外研修を実施しておりますが、このたび平成19年度開催計画について、別紙のとおり決定し実施することとなりました。

本建設技術講習会では、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等、業務に直接役立つ内容となっておりますことから、公共事業に携わる官公庁職員の研修の機会として意義あるものと考えておりますので、ご理解のうえ講習会のご活用についてご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。 敬具

地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会長 鈴木 道雄



第531回建設技術講習会（管理行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成19年10月24日（水）～26日（金）下関市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、公共土木施設等の維持・管理及び土木・建築技術の管理に係る現状と課題及び今後の動向について学ぶとともに、公共施設をめぐる紛争事例と動向、施設の長寿命化、ITの活用、合理的更新など最新の管理技術を学ぶことを目的としています。

なお、本講習会は、山口県・下関市の共催、国土交通省の後援のもと実施いたします。

会場及び日程：別紙日程表のとおり

聴講料：正会員・特別会員・賛助会員..... 8,200円〔昼食の斡旋なし〕
正会員（地元〔山口県内〕）..... 1,400円〔 " 〕
非会員..... 13,200円〔 " 〕
「正会員（地元）」とは、開催地（山口県）内に勤務の「正会員」のみ
聴講のみの参加は可能です

現場研修料：..... 7,000円〔うち昼食代1,200円〕
現場研修のみの参加はできません

申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
当日の講習会場でのお支払い並びに追加申し込みは受け付けできません。

申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 昭栄赤坂ビル7F
（社）全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通預金口座 No.0311142
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会
お振込の際必ず、お振込人名義の前に、開催回数「531」をつけ加えて下さい。

申込締切日：平成19年10月5日（金）必着（締切日以降の到着は受理できない場合があります。）

取り消し・返金について

申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

【返金方法】

	平成19年10月12日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
	平成19年10月19日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記を過ぎてからの取り消し	返金できません

テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡します。
事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

本講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度（CPDS）」に認定された講習会です。
（CPDS登録希望者及び受講認定を必要とする方には、会場で学習履歴登録手続きについてご案内します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

第 531 回建設技術講習会（管理行政の課題） 日程

～ 公物管理を巡る紛争事例や最新の管理技術～

公共土木施設等の維持・管理及び土木・建築技術の管理に係る現状と課題及び今後の動向について学ぶとともに、公共施設をめぐる紛争事例と動向や、施設の長寿命化、ITの活用、合理的更新など最新の管理技術を学ぶ

会 場海峡メッセ下関（イベントホール）

〒750-0018 下関市豊前田町 3-3-1 TEL 0832-31-5600

1 日目 平成 19 年 10 月 24 日（水）		（敬称略）	
10:00	あいさつ	山口県知事	二井 関 成
10:20	"	下関市長	江 島 潔
（公共事業を巡る紛争事例）			
10:20	最近における公共事業紛争の判例と動向	みずほ総合法律事務所 弁護士	細 見 孝 二
11:50			
（技術管理の現状と課題）			
13:00	これからの技術管理行政のあり方	国土交通省関東地方整備局 企画部長 （本会 管理瑕疵研究委員会委員長）	松 本 直 也
14:30			
14:40	【特別講演】 下関の歴史と初期洋風建築	山口県創作懇話会会長 下関・郷土の文化財を守る会会長 下関市文化財保護審議会委員	清 永 只 夫
15:40			
15:50	【地域事業の紹介】 下関港新港地区沖合人工島〔長州出島〕 について	下関市港湾局企画振興課 課長補佐	石 田 朋 彦
16:20			
16:20	【地域事業の紹介】 真締川治水ダム建設事業について	山口県宇部土木建築事務所 ダム建設課長	す だ 田 修
16:50			
2 日目 10 月 25 日（木）		（敬称略）	
9:40	港湾管理に係る諸情勢について	国土交通省港湾局総務課	磯 野 良 樹
10:40	～我が国港湾の特性と国際競争力の確保に向けて～	課長補佐	
10:50	国家機関の建築物の保全の現状と今後の展望	国土交通省大臣官庁官庁営繕部計画課	橋 本 和 明
11:50	～「つくる」から「使う」へ～	保全指導室 企画専門官	
13:00	河川管理の現状と課題	国土交通省河川局治水課	野 口 哲 秋
14:00	～河川管理の目的、実施内容と今後の方向性～	河川保全企画室 課長補佐	
14:10	高齢化する道路構造物の長寿命化への取り組み	国土交通省道路局国道・防災課	中 前 茂 之
15:10	～事後保全から予防保全へ～	道路保全企画室 課長補佐	
15:10	閉会のあいさつ	山口県建設技術協会長 （山口県土木建築部次長）	中 井 文 雄
地域の独自調査			
【現場研修】 3 日目 10 月 26 日（金）			

海峡メッセ下関前 駐車場（8:30）出発

下関港新港地区（沖合人工島）整備事業（下車説明） 県道武久棕野（たけひさむくの）線整備事業（下車説明）

下関港ウォーターフロント再開発事業（唐戸市場～カモンワーク～海響館）（下車説明）

昼食（下関市内） 真締川治水ダム建設事業（下車説明） 中央町三丁目土地区画整理事業（下車説明）

山口宇部空港（15:40）着後解散 JR 新山口駅（16:30）着後解散

上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。
講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

第 5 3 1 回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 下関港新港地区（沖合人工島）整備事業 山口県下関市垢田沖

関門海峡沿いの港湾整備は、背後地の不足や船舶航行上の制約等により限界があることから、国際コンテナ貨物の増大や船舶の大型化に対応するため、関門海峡内に比べて制約が少なく、将来への発展可能性が高い日本海側の新港地区において沖合人工島（長州出島）の整備を進めています。

第 期整備計画として、主に東アジア諸国からの外国貿易貨物を取扱う多目的国際ターミナルを核とする運輸・物流ゾーン（面積約 62ha）の整備に着手し、平成 20 年度末の一部供用開始を予定しています。

また、埋立を島方式にすることで海岸線をできるだけ残し、外周護岸の一部は親水性護岸タイプとするなど、自然環境に配慮しています。



2 県道 258 号武久棕野（たけひさむくの）線整備事業 山口県下関市武久町

下関市の中心市街地に位置する当地域は、JR 山陽本線によって東西に分断され、慢性的な朝夕の交通渋滞を引き起こすと共に、地域の経済活動に大きな障害を与えています。

当事業は全長 1,600m のうち、JR の上を 690m の高架橋によって連絡するもので、交通渋滞の緩和、交通安全の確保等により市民生活の便宜向上に寄与します。

さらに、現在建設中の「長州出島（沖合人工島）」や「国道 191 号下関北バイパス」と中国縦貫自動車道下関 IC を短縮することにより、下関市の活性化に大いに役立つものと期待しています。



3 下関港ウォーターフロント再開発事業〔下関市地方卸市場唐戸市場～カモンワフ～海響館〕 下関市あるかぼーと～唐戸町

下関市では、JR 下関駅から唐戸地区までの関門海峡沿いにおいて、都市軸の強化・連携を図り中心市街地活性化に資するため、ウォーターフロント開発事業を始めとした各種事業を推進展開しています。

関門海峡の壮大な魅力を背景としたこのウォーターフロント地区（あるかぼーと下関）においては、「海といのち、海のいのち」をメインコンセプトとして今世紀最初にオープンした水族館「海響館」や、威勢の良い競りを見学することができる地方卸売市場「唐戸市場」、そして関門の海の幸・山の幸を満喫できる「カモンワフ」が整備されるなど、新しい観光ポイントの整備によって多くの賑わいの場を創出しています。



4 真締川治水ダム建設事業 山口県宇部市川上地先

真締川ダムは、山口県の補助ダムとして初めて施工する均一型に近いフィルダムで、宇部市中心市街地を北から南に貫流する二級河川真締川上流の本川と支川戸石川に二つの堤体を有し、本川と支川を分ける中尾根部に洪水吐きを設ける構造となっています。

本ダムの目的は、真締川流域の洪水被害の軽減と既得取水の確保及び河川環境の保全であり、ダムの規模は、堤高 21.9m、堤頂長 367.5m、堤体積 24.1 万 m³、総貯水容量 84.2 万 m³、有効貯水容量 76 万 m³ となっています。総事業費は 120 億円で、完成は平成 20 年度末を予定しています。



5 中央町三丁目土地地区画整理事業 山口県宇部市中央町三丁目

本地区は、中心市街地の一角にあり、近年の郊外型ショッピングセンターの立地等が生み出した商業環境等の変化により、空き店舗等の増加及び定住人口の減少等空洞化が進んでおり、さらには過去において戦災を逃れた経緯等から道路幅員が狭く、老朽化した建物が密集していました。

このため、定住人口の回復と商業機能の再編に向け、民間（地元）主導で行う建物の共同化及び協調化による上物整備と併せて、区画道路、広場等の公共施設や電線類地下埋設施設を土地地区画整理事業により整備し、良好な住居環境と賑わいの創出、並びに防災面の向上を図っています。



第 531 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊料 金：宿泊希望者には下関市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

宿泊予約金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。

送金先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店

銀行口座 三菱東京UFJ銀行 八重洲通支店 普通預金口座 1015114

お振込の際は、お振込人の名義の前に開催回数「531」を付け加えて下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 東京営業本部 日本橋支店 TEL 03-3272-2411 FAX 03-3272-3169
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-5-14（都民興業日本橋ビル6階）

「全建担当デスク」迄

申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

取り消し・返金について

平成 19 年 10 月 12 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
平成 19 年 10 月 19 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成 19 年 10 月 23 日（火）、24 日（水）、25 日（木）

（1泊朝食付、サービス料・消費税含む）

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	プラザホテル下関	下関市岬之町 11-10 TEL: 0832-23-3333	シングル	10名	8,200円
	下関東急イン	下関市竹崎町 4-4-1 TEL: 0832-33-0109		30名	8,000円
B	ヴィアイン下関	下関市竹崎町 4-2-33 TEL: 0832-22-6111		60名	7,200円
	下関駅西ワシントンホテルプラザ	下関市大和町 1-4-1 TEL: 0832-61-0410		40名	7,000円
宿泊斡旋人数合計				140名	

「下関駅西ワシントンホテルプラザ」は10/25（木）の斡旋はございません。

宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第 5 3 1 回建設技術講習会の団体航空幹旋便について

航空代金：希望者には団体航空便を下記のとおり幹旋いたします。

航空代金は幹旋のこの便に限り有効となります。この金額による別の便への変更は出来ませんのでご注意ください。

航空便申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。

往路又は復路のみの申込みも可能です。希望者は申込書の右端の該当欄に A～C を記入願います。

航空運賃は、申込みと同時に金額を西鉄旅行㈱宛に直接（宿泊予約金がある場合は、その合計金額）送金して下さい。

航空便の発着時刻に変更が生じた場合、予約された方に通知いたします。

定員に達し次第締切とさせていただきます。

問い合わせ先：西鉄旅行㈱ 東京営業本部 日本橋支店 TEL 03-3272-2411 「全建担当デスク」まで

【往路】 10月23日（火）講習会前日の便

記号	搭 乗 区 間		便 名	幹旋席数	片道航空代金
A	羽 田 14:00	山口宇部 15:40	ANA 695 (全日空)	40 席	18,000 円

【復路】 10月25日（木）聴講終了後の便

記号	搭 乗 区 間		便 名	幹旋席数	片道航空代金
B	山口宇部 19:15	羽 田 20:45	JAL 1648 (日本航空)	10 席	17,500 円

【復路】 10月26日（金）現場研修終了後の便

記号	搭 乗 区 間		便 名	幹旋席数	片道航空代金
C	山口宇部 16:25	羽 田 17:55	ANA 698 (全日空)	40 席	19,500 円

- ・上記代金には、旅客施設使用料（羽田 1 区間 100 円）が含まれています。
- ・団体航空券のため、申込者個人に予め航空券をお送りすることはいたしません。各空港集合場所に集合して下さい。
- ・集合場所については、申込み締切後、各協会宛てにご通知いたします。
- ・集合時間は出発時刻の約 40 分前です。その際、搭乗券をお渡します。
- ・搭乗日・搭乗区間・便の変更は出来ません。
- ・お乗り継ぎの場合、30 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
航空会社が異なる場合の乗り継ぎの場合は、50 分以上の乗り継ぎ時間が必要です。
- ・割引率は飛行機の時間帯（便）により異なります。

【団体航空便取消料】片道 1 席につき下記の取消料がかかります（ご予約の変更はできません）。

記号	搭 乗 区 間	10/4～10/11 に取消した場合	10/12～10/17 に取消した場合	10/18以降便出発迄に取消した場合
A, B, C	羽 田 山口宇部	3,000 円	6,000 円	9,000 円

- ・出発後の取り消しの場合、一切払い戻しは出来ません。

社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____ 印
 (特別・賛助会員名)

第531回建設技術講習会(管理行政の課題)申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (×印)	現場研修	宿泊申込			航空便申込		
(フリガナ)氏名 <small>(女性の場合は番号に 囲みにして下さい)</small>	年齢		正会員	非会員			予約日に 印を記入して下さい			A~Cを記入		
							10月23日	24日	25日	10月23日	25日	26日
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
聴講料							現場研修の昼食は不要の申し出はできません					
正会員・特別会員・賛助会員		名 × 8,200円 =		円			宿泊予約金					
正会員(地元)		名 × 1,400円 =		円			泊 × 4,000円					
正会員(地元)とは、開催地(山口県)内に勤務の「正会員」				円			航空便					
非会員		名 × 13,200円 =		円			往路					
							復路					
現場研修料		名 × 7,000円 =		円			計					
							計					
		計		円			円					

全建に振込

西鉄旅行(株)に振込

〔お申込み後の変更・取り消し・追加方法について〕

お電話での受付はいたしません。本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、FAXにてお送り下さい。なお、この場合、原本の郵送は不要です。全建FAX 03 - 3586 - 6640 迄

〔聴講時の昼食について〕

昼食の幹旋はありません。

〔現場研修時の昼食について〕

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。